

2025年度第1四半期決算説明会 Q&A要旨（2025. 5. 14開催）

※質問内容を事業別に分類の上、質疑応答の要旨を掲載しております

全体

Q. 『社員ファースト』に関する全社プロジェクトについて、具体的取り組みとその効果や手応えについて、教えて欲しい。

A.

当社は「お客様ファースト」を土台にしつつ、2025年1月より「社員ファースト」プロジェクトを本格始動しました。社員の幸せや充実感こそが、質の高いサービスの継続に不可欠と考えたためです。

このプロジェクトでは、単なる制度導入ではなく、社員自らがアンバサダーとして参加し、組織のあり方を共に考える“社員主体”の姿勢が特徴です。

取り組みの内容も幅広く、オフィス内での快適な働き方の工夫といった日常的な改善から、人事評価やキャリア形成のあり方の見直しまで多岐にわたっています。

こうした議論や提案に、現場の社員が当事者として関わることで、社員自身が「ポピンズという船と一緒に漕ぐ一員である」と実感できるような、エンゲージメントの高まりが見られています。

こうした「上からの一方的な施策」ではない取り組みこそが、第2創業期における、まさに新たな成長エンジンになります。また、社員の目の輝きや前向きな反応に、その手応えを感じております。

最後に、「社員ファースト」は「お客様ファースト」を補完するものでありむしろ、社員が満たされることによって、より持続的に最高水準のサービスが提供できるとの確信に基づいたものです。今後も、社員とともに創る組織として、長期的に取り組みを深化させていく方針です。

補足コメント（田中）：

本年4月に改めて、実際に保育現場を体験した上で、現場の困難さと同時に、お客様からの信頼と感謝の大きさを改めて認識し、社員への敬意を強く実感できました。この経験をもとに、「社員ファースト」の取り組みを、社員と共に進めていきたいと、感じています。

ファミリーケア事業

Q. ナニーサービスやシルバーケアサービスにおいて、体制強化が進んでいると伺っているが、2Q以降もこのまま増収基調を維持できる見通しでしょうか。

また、ファミリーケア事業について、期初計画では「yoy10%台前半の増収」を見込まれていたところ、1Q実績ではyoy20%を超える増収となっています。通期見通しに対しても、上振れ傾向と受け止めてよいでしょうか。

A. 1Qの増収率は約20%でしたが、これは2大助成金（こども家庭庁ベビーシッターチケットや東京都ベビーシッター利用支援事業）の利用増加に伴う、2～3月の繁忙など、期初からある程度、想定していた要因によるものです。

4月以降も順調に推移しており、通期計画に対しては、計画通り進捗しているとの手応えがあります。

ただし、1Qと同様の「yoy20%超の増収」が年間を通じて続くとは、現時点で見込んでおらず、あくまで好調なスタートを切った、という認識です。

以上

【お問い合わせ】 株式会社ポピンズ IR室

✉ ir@poppins.co.jp

☎ 03-6625-2753